

**桑野工業株式会社**  
Kuвано Industry Co., Ltd.

**桑野電子(東莞)有限公司**  
KUWANO Electronics (DongGuan) Co., Ltd

**桑野(香港)有限公司**  
KUWANO (HongKong) Co., Ltd

## 【あいさつ】



代表取締役社長  
桑野 兼寿

### 桑野工業は時代を担う先進企業として

O. E. M. 製品の品質向上と独自製品の開発に力を注ぎます。

桑野工業は、BS・CS放送、地上デジタル放送等の関連の電子機器製造事業、自動車部品を主としたニューカーライフ関連の製造事業、この2本柱で大手メーカーから大きな信頼を得ることができました。

弊社では、お客さまのニーズにより早く、より深くお応えする為に製品の品質向上は基より、独自の製品開発にも積極的に取り組み、海外の活動拠点も含めて協力体制の充実化を進めております。

我々は、世界の人々に豊かな生活を提案すること。その夢に向かって、桑野工業は常に柔軟で努力する企業であり続けます。

## 【より良い品質向上を目指して】

### ■ 桑野工業株式会社 会社方針 ■

#### [ 経営理念 ]

1. お客様第一  
常にお客様との関係を良く保ち、信頼を勝ち取り顧客満足度100%をめざす。
2. 堅 実  
バランスの取れた経営を維持し、得意先、社員、仕入れ先の幸福をめざし、結果として会社の繁栄をめざす。
3. 工 夫  
常に工夫をする事により質の高い製品の提供をめざす。
4. 適 応  
常に変化する経営環境に柔軟に対応する事をめざす。

#### [ 品質基本方針 ]

品質はお客様の信頼を勝ち取る最大の武器であることを認識し、継続的品質改善を推し進め、お客様が満足する高品質な製品を提供する。

## 【 ISO 9001・ISO 14001・ISO/TS 16949認証取得 】

	本社・三好工場	2010(平成22)年 2月 ISO 9001:2008 認証取得
	豊田工場	2010(平成22)年 2月 ISO 9001:2008 認証取得
	スリランカ工場	2009(平成21)年 12月 ISO 9001:2008 認証取得
	桑野電子(東莞)有限公司	2009(平成21)年 9月 ISO 9001:2008 認証取得 2009(平成21)年 9月 ISO 14001:2004 認証取得 2009(平成21)年12月 TS 16949:2009 認証取得

## 【 本社・三好工場 】

衛星放送受信機器・地上波デジタル放送機器、CATV機器等で高い評価を受けています

本社・三好工場は、マスプロ電気株式会社に協力し、  
アンテナ・電子機器等の開発・設計、製造、品質管理を一貫して行います。

### ■ 開発・設計 ■

開発・設計部門では、衛星放送機器や地上波デジタル放送機器、CATV機器で  
トップクラスの技術を持ち、家庭用分配器、保安器、壁面埋込型直列ユニット、パラボラアンテナ、  
アンテナプラグ、分配器、テレビ接続ケーブル等、多くの開発製品を実現化しています。



### 【 人材の育成 】

人材の育成には、力を入れています。

開発・設計の担当者には、技術的な社内教育や社外教育を十分に行い、新商品の開発には欠かせない  
「新しく・独自な・工夫のある」柔軟な発想力を育成しています。

また、近年の海外派遣の活発化において、グローバル感覚を養うための英会話教育や海外研修も積極的に行っています。



開発課 新商品の開発①



開発課 新商品の開発②



3D\_CAD設計



光造形3D試作



製品性能評価



①デジタルフォースゲージ



②EDX型X線分析装置



③紫外可視分光光度計



④恒温槽



⑤振動試験機

## 【 本社・三好工場 】

### ■ 生産・品質管理 ■

プレス加工部門では、当社独自の機械加工技術で少人数生産が可能です。  
トランスファープレスや全自動組付機も数多くあります。

電子機器製造部門では、環境負荷物質に対応した電子機器の製造が可能で、  
電子機器の検査には、画像検査システムを導入しています。

組立部門では、半自動化による効率生産も行なっています。



樹脂材 打抜加工



金属材 打抜・成形加工



金属スポット溶接加工



鉛フリー対応はんだ槽



プリント基板表面実装システム①



プリント基板表面実装システム②



製品組付



電子機器画像検査

## 【豊田工場】

トヨタ生産方式(just in time)の採用により高い評価を受けています。

### ■ 製品情報 ■

豊田工場では、大手自動車内装品メーカーである林テンプ株式会社との取引により、自動車部品等の製造・生産しています。主として自動車内装部品であるトノカバー、サンシェード、ラジエターシャッター等を生産、トヨタ自動車の80%のシェアを獲得しています。さらに、ボタンひとつで操作できる[電動サンシェード、電動トノカバー]の製品を開発し、提案するプランナーの役目も果たしています。



### ■ 生産情報 ■

当工場では、高い生産技術を持ち、加工・組立・検査をトータルして行い、トヨタ生産方式の採用により、ムダの無い効率的な生産を可能としています。生産は、「かんぱん」スタイルで行い、工程は多品番(多種・多配色)の商品が同工程内で生産でき、大/小ロットに対応した一個流し(U字型/L字型/I字型/DM型)ラインを採用している。そこに使用している組立機械・治工具等のほとんどが自社製でユニークな発想なものが数多くあります。

近年ではインターネットを利用した「受注オンラインシステム」を導入し、お客様との連携を密に行っています。



工場内①



工場内②



超音波溶着加工



多品種部品の識別・梱包



車内装部品の組付



生産出来高・変化点チェック

### ■ 品質情報 ■

ISO 9001:2008を認証取得し、万全な体制で挑みます。豊田工場は、高い目標を掲げ、品質向上や品質維持に努めています。

お客様様の品質ニーズに応える為に、お客様からの情報を密に取り社内展開、十分なデザインレビューと品質検証を行い、起こり得る問題点を潰し込んでいきます。部署間との連携、各担当者との認識合わせや指導も重要なところです。



品質指導



品質確認

## 【九州事業所】

トヨタ生産方式(just in time)の採用により高い評価を受けています。

### ■ 製品情報 ■

九州事業所は、豊田工場の管轄事業所として自動車部品等の製造・生産を行なっています。主として自動車内装部品であるトノカバーのサブアセンブリを行っており、高級(レクサス)品質の製品も数多く取り扱っております。



### ■ 生産情報 ■

当事業所では、九州地区での年々増加する自動車生産、高級(レクサス)品質に対応した生産体制を敷いており、豊田工場と同様の「トヨタ生産方式」を採用しております。



工場外観



工場内



レクサス車 内装部品の加工



レクサス車 内装部品の組付



レクサス車 レザー部品の縫製加工



生産出来高チェック

### ■ 品質情報 ■

九州事業所の品質目標は豊田工場と同じ枠の中で行っており、豊田工場と同様の品質向上や品質維持に努めています。

九州地区のお客先様の品質ニーズであるレクサス品質に応えるには、仕入先(地元の協力企業)と客先との品質レベルの擦り合わせや常日頃の変化点管理や品質活動が重要なポイントになってきます。



本日の生産指示、変化点チェック

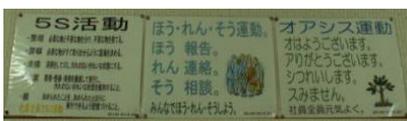


豊田工場と同様の品質指導！

### トヨタ自動車の改善である見える化の実施例



生産出来高管理表、品質管理表  
変化点管理表、作業者力量評価等が  
各工程ごとに設置し管理している



5S活動、社会人マナー、挨拶などの  
啓蒙表示

## 【スリランカ工場】

テレビ受信機器・衛星放送受信機器の製造等で高い品質評価を受けています

桑野工業(株)では1989年よりスリランカ、コロンボ郊外の工業団地にて電子機器の生産拠点を置き、現在、300名の現地社員が部品加工、アッセンブリ加工を行っております。

### ■ 部品加工、アッセンブリ加工 ■



アッセンブリ加工①



アッセンブリ加工②



部品加工



性能確認



画像検査



最終外観検査

### ■ 製造機器等の点検指導 ■



## 『スリランカ紹介』

仏教徒が70%を占める大変親日的な国。インド洋の真珠と言われているだけあって非常に美しい国です。

気候は熱帯性気候で年間を通じ28～32℃位、年間2回のモンスーン時期がある。

国の面積は6.6万平方キロでほぼ日本の九州と同じ広さの国土、1900万人の人々が暮らしています。

言語はシンハリ語、タミール語及び英語で、ビジネスは英語が中心となっている。

昔からセイロン紅茶として有名な紅茶。サファイア、ルビー、アレキサンドライド、キャッツアイ等の宝石の産出、輸出も有名であるが近年環境にやさしいヤシの繊維を自動車のシート他に利用する等、急速に注目を浴びてきています。

スリランカ地図



アクセス：成田空港より直行便で9時間

時差：日本と3時間30分

2006年4月15日 スリランカ標準時変更  
(サマータイムではなく、恒久的変更)  
00:30が00:00となり、GMT+5:30となった。  
従って、日本との時差は-3:30。

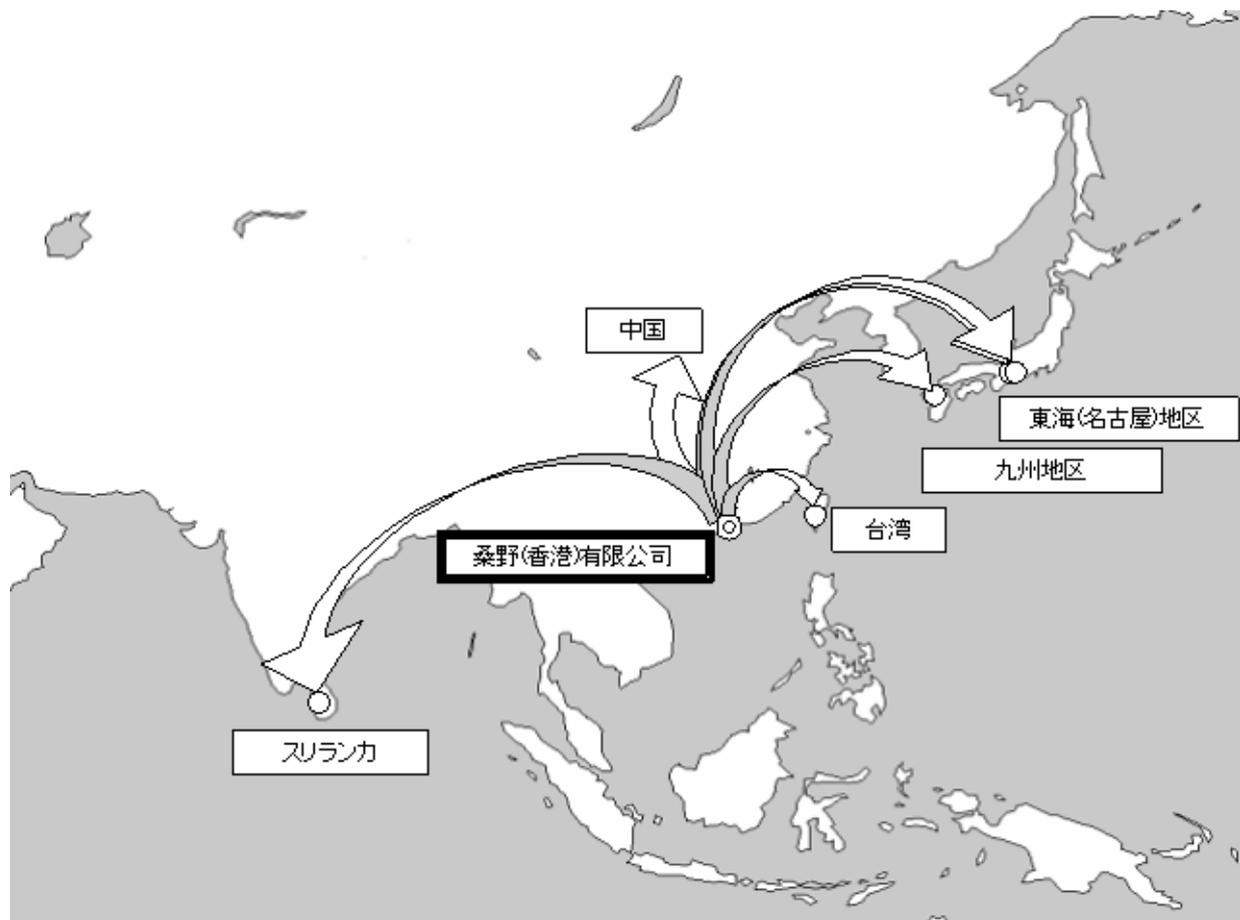
## 【 桑野(香港)有限公司 】

東アジア地区の貿易拠点として営業しています。

東アジア地区における現地貿易が増加する中、貿易ルート拡大の為に中国香港(2004年6月)に桑野(香港)有限公司を設立しました。

現在では、中国華南地区の自動車部品の受注も増え、貿易商品も多く頂いております。

### ■ 東アジア地区における主な貿易ルート ■



## 【桑野電子(東莞)有限公司】

東アジア地区の生産拠点としてデジタル機器や自動車製品の生産をしております。

東アジア地区における現地生産が増加する中、生産体制を充実させる為に中国東莞(2007年10月)に桑野電子(東莞)有限公司を設立しました。

桑野グループでは、長年培ってきた海外生産(スリランカ・中国)の事業経験や日本における生産管理・品質管理の事業体制を融合し、高い次元での顧客信頼を目指します。



会社正面



入口



事務所



作業現場①  
電子機器製品組付



作業現場②  
自動車製品組付



作業現場③  
製品性能検査



設備①  
樹脂射出成形機88~168t



設備②  
鉛フリー対応はんだ槽



設備③  
ユニット組付用 10tプレス



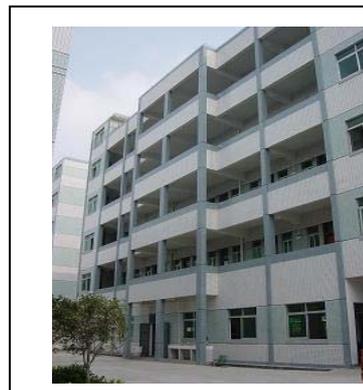
設備④  
はんだ付けN2システム



設備⑤  
CATV用製品組付



設備⑥ 環境負荷物質  
[定量]X線分析測定装置



社員寮  
100名程の社員が  
入寮しています

## 【活動拠点】



## 【会社案内】

### 【概要】

社名	/ 桑野工業株式会社
本社・三好工場	/ 〒470-0207 愛知県みよし市福谷町蟹畑36 TEL(0561)36-1988 FAX(0561)36-0187
豊田工場	/ 〒471-0058 愛知県豊田市大池町汐取35-4-1 TEL(0565)36-1621 FAX(0565)36-1623
九州事業所	/ 〒823-0017 福岡県宮若市倉久2235-1 TEL(0949)33-1199 FAX(0949)33-1501
桑野(香港)有限公司	/ 九龍尖沙咀東科學館道1號康宏廣場北座22字樓2313室 TEL(852)2366-2506 FAX(852)2366-2517
桑野電子(東莞)有限公司	/ 広東省東莞市横瀝鎮長田工業区新麗一期B棟 TEL 769-82329818 FAX 769-82329828
スリランカ工場	/ 日本マルチランカエレトロニクス(PVT)LTD 133,UDA Industrial Estate, Katuwana Road, Homagama, Sri Lanka
創業	/ 1955(昭和30)年 3月
会社創立	/ 1959(昭和34)年 11月
代表者	/ 代表取締役社長 桑野 兼寿
事業内容	/ 電子機器製造・自動車部品製造・自動車用品製造
資本金	/ 3,570万円
資本関係	/ 名古屋中小企業投資育成会社・資本参加企業
従業員	/ 120名(日本国内)
取引銀行	/ 十六銀行名古屋支店・三菱東京UFJ銀行豊田支店・ 名古屋銀行 三好支店・岡崎信用金庫三好支店
売上高	/ 75億円(2011年6月)

### 【沿革】

1955(昭和30)年 3月	/ 名古屋市中区大須にて自動車部品の製造販売会社・桑野工業所設立
1955(昭和30)年10月	/ トヨタ車体(株)にバックミラー・ルームミラー・ルームランプ等の納入開始
1959(昭和34)年11月	/ 法人組織(株)桑野工業所に変更
1968(昭和43)年 3月	/ 社名を桑野工業(株)に変更
1969(昭和44)年 3月	/ 三好へ工場新設(2,600㎡)
1969(昭和44)年 8月	/ マスプロ電工(株)のTV共同受信機器製造開始
1976(昭和51)年 9月	/ 三好町南井山工場(900㎡)新設
1977(昭和52)年 3月	/ 自社開発製品として自動車用品・ルーフキャリアの製造開始
1982(昭和57)年 4月	/ 林テンプ(株)に自動車部品の納入開始
1982(昭和57)年11月	/ 南井山工場を豊田市大池町に移転、
1985(昭和60)年12月	/ 自社開発製品ターボタイマーの製造開始
1987(昭和62)年 5月	/ 自社開発製品ハンドカートの製造開始 / [日本DO IT YOURSELFショウアイデア商品コンクール銅賞受賞]
1989(平成 1)年 3月	/ 電子機器生産拠点としてスリランカ工場新設
1991(平成 3)年10月	/ 第二事業部を豊田市大池町に移転
1996(平成 8)年 3月	/ 第二事業部を第二豊田工場に名称変更・第二豊田工場増設
1997(平成 9)年 9月	/ 自社製品部門を(株)シアントシークワノとして分社独立
1998(平成10)年 1月	/ 第二豊田工場を豊田工場に名称変更
1998(平成10)年 2月	/ 三好本社工場に新工場建設
2002(平成14)年 5月	/ 三好本社工場に電子部品表面実装システム導入
2003(平成15)年 2月	/ ISO 9001:2000 認証取得 本社・三好工場
2003(平成15)年 3月	/ ISO 9001:2000 認証取得 豊田工場
2004(平成16)年 6月	/ 中国香港市に桑野(香港)有限公司を設立
2005(平成17)年 5月	/ 九州福岡市に九州事業所を開設
2007(平成19)年10月	/ 中国広東省東莞市に桑野電子(東莞)有限公司を設立
2009(平成21)年 9月	/ ISO 9001:2008 ISO 14001:2004 認証取得 桑野電子(東莞)有限公司
2009(平成21)年12月	/ ISO/TS 16949:2009 認証取得 桑野電子(東莞)有限公司
2009(平成21)年12月	/ ISO 9001:2008 認証取得 スリランカ工場
2010(平成22)年 2月	/ ISO 9001:2008 認証取得 本社・三好工場、豊田工場
2010(平成22)年10月	/ スリランカにマスプロランカ(PVC)LTD (マスプロ電工(株)・桑野工業(株) ・日本マルチランカLTD) 3社合弁企業設立